

農 業, 林 業

本県は穏やかな気候と広大な沃野に恵まれ全国有数の農業県であり、一方京浜地区の一大消費地を控えており、農業経営に非常に有利な条件を備えている。

昭和34年の県農業調査による農家数は189千戸を数え全世帯の44.7%占めているが、昭和27年以降は若干ずつ減少の傾向にある。これは零細農家の他の産業への転換が主な理由と思われる。専業、兼業別にみると、専業農家は漸減し兼業農家が次第に多くなる傾向にある。これは農家の余剰労力、農業所得等の関係によるものと思われる。

また、農家人口は112万人で、約半数の50万人が農耕に従事しており、経営耕地面積は県総面積の33.9%にあたる17万ヘクタールで、うち水田が56.7%を占める。農林省調査による本県の昭和33年産米の収穫量は407千トンで、新潟、北海道、秋田、山形に次いで全国第5位あり、甘藷は鹿児島に次ぎ第2位、また本県特産品の落花生においては全国収穫量の57.2%を占めている。

次に林業についてみると本県は平地林と丘陵山林とに分けられ、東葛飾、印旛、香取の各部を含む北総地帯は概ね平坦地で平地林の性格をもち、安房、君津、夷隅の南総地帯は丘陵山林地で、地形は比較的に急峻で本県林業の主要地帯を形成している。

林野面積は165,618ヘクタールで県総面積の32.9%を占め、種類別は樹林地が91%を占め、のこりが原野、竹林、伐採跡地等となっており、樹林地では針葉樹が最も多く、広葉樹、混合林の順となつている。

経営形態別では私営（社寺、会社個人等）が89.2%、国営および公営の10.8%でほとんどが私営のものである。